

第五十一回 帝國議會 貴族院議事速記録第十三號

大正十五年二月二十日(土曜日)

午前十時十二分開議

議事日程 第十三號 大正十五年二月二十日

午前十時開議

- 第一 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第三 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 獸醫師法案(政府提出) 第一讀會

○議長(公爵德川家達君) 雍仁親王殿下御不例ノ趣、拜承イタシマシタカラ、議長ハ議院ヲ代表シテ去ル十七日在「ベルン」日本公使館林男爵宛左ノ御見舞ノ電報ヲ發送イタシマシタ

秩父宮殿下御不例ノ趣拜承心痛ノ至リニ堪ヘズ速ニ御快癒ヲ祈リ奉ル
一昨十八日、皇子御殿ニ議長ハ參殿イタシマシテ御見舞ヲ言上イタシマシタ、昨十九日、林男爵ヨリ左ノ答電ヲ受領イタシマシタ
貴電ノ趣言上御満足ニ思召サル

○議長 公爵德川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

去ル十七日可決シタル議員從二位勳一等伯爵大木遠吉君ニ對スル弔辭ハ即日之ヲ贈レリ

同日民事訴訟法中改正法律案外一件特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵伊東 祐弘君 副委員長 河村讓三郎君

同日産業組合法中改正法律案特別委員會ニ於テ副委員長高橋直治君辭任ニ付其ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ五十嵐甚藏君當選セリ
同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
請願文書表第四回報告書

同日政府ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正十二年度國有財産増減總計算書

大正十二年度各省所管國有財産増減報告書

大正十二年度國有財産増減總計算書檢査報告

昨十九日決算委員長ヨリ第三分科擔當委員福永吉之助君ヲ第一分科兼務委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

同日決算委員第二分科會ニ於テ副主査川上親晴君辭任ニ付其ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ子爵三室戶敬光君當選セリ

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願委員會特別報告第一號

同日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

民事訴訟費用法中改正法律案

民事訴訟用印紙法中改正法律案

商事非訟事件印紙法中改正法律案

非訟事件手續法中改正法律案

人事訴訟手續法中改正法律案

競賣法中改正法律案

民法中改正法律案

破產法中改正法律案

明治三十二年法律第五十號中改正法律案

刑事訴訟法中改正法律案

本日第九部ニ於テ部長侯爵細川護立君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果伯爵二荒芳德君當選セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、一昨十八日、本院議員勳四等高橋直治君ノ死去セラレタル報告ニ接シマシタ、同君ハ御承知ノ通り此度新ニ本院議員ニ勅任セラレマシテ、日ナラズシテ死去ノ報ニ接シマ

シタコトハ、誠ニ痛惜ニ堪ヘマセヌ次第デゴザイマス、依テ弔辭ヲ贈ルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認マス

○議長(公爵徳川家達君) 中山侯爵病氣ニ付キ九日間ノ請暇ノ申出ガゴザイマシタ、之ヲ許可イタスコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認マス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、御異議ガ無ケレバ、日程第一、第二、第三ヲ一括シテ議題ト致シマス、日程第一、日本勸業銀行法中改正法律案、政府提出、第一讀會、第二、農工銀行法中改正法律案、政府提出、第一讀會、第三、北海道拓殖銀行法中改正法律案、政府提出、第一讀會、武内政府委員

日本勸業銀行法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正十五年二月十六日

内閣總理大臣 若槻禮次郎
大藏大臣 濱口雄幸

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第十四條第三項中「輕便鐵道財團」ヲ「鐵道財團及」ニ改ム

第十四條ノ二中「建物ヲ抵當トスル貸付金額」ヲ「建物ヲ抵當トスル貸付金額並第十五條第五項ノ貸付金額」ニ改ム

第十五條第一項中「郡」ヲ削リ同條第三項中「産業組合」ヲ「産業組合、重要輸出品工業組合」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

都市計畫法ニ依リ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ土地區劃整理組合若ハ其ノ聯合會ヨリ借用ヲ申出タルトキ又ハ共同施行者カ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ抵當ヲ徵セシテ定期償還貸付又ハ年賦償還貸

付ヲ爲スコトヲ得

第十五條ノ二中「第十五條各項」ヲ「前條第一項乃至第四項」ニ改ム

第二十八條中「郡」ヲ削ル

第三十二條第一項第三號中「産業組合」ヲ「産業組合、重要輸出品工業組合、漁業組合」ニ改ム

第三十二條ノ二中「郡」ヲ削ル

農工銀行法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正十五年二月十六日

内閣總理大臣 若槻禮次郎
大藏大臣 濱口雄幸

農工銀行法中左ノ通改正ス

第五條中「郡」ヲ削ル

第六條第三號中「郡」ヲ削リ同條ニ左ノ一號ヲ加フ

六 都市計畫法ニ依リ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ土地區劃整理組合若ハ其ノ聯合會ヨリ借用ヲ申出タルトキ又ハ共同施行者カ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ無抵當ニテ本條第一號、第二號ノ貸付ヲ爲スコト

第六條ノ二中「建物ヲ抵當トスル貸付金額」ヲ「建物ヲ抵當トスル貸付金額並前條第六號ノ貸付金額」ニ改ム

第七條ノ三中「産業組合」ヲ「産業組合、重要輸出品工業組合」ニ改ム

第二十條中「郡」ヲ削ル

第二十三條第三號中「産業組合」ヲ「産業組合、重要輸出品工業組合、漁業組合」ニ改ム

第二十四條第二項中「郡」ヲ削ル

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
大正十五年二月十六日

内閣總理大臣 若槻禮次郎
大藏大臣 濱口雄幸

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第七條ニ左ノ一項ヲ加フ

北海道拓殖銀行ハ五十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ又ハ五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ北海道又ハ樺太ニ於ケル鐵道財團又ハ軌道財團ヲ抵當トスル貸付ヲ爲スコトヲ得

第八條第四項中「産業組合」ヲ「産業組合、重要輸出品工業組合」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

都市計畫法ニ依リ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ土地區劃整理組合若ハ其ノ聯合會ヨリ借用ヲ申出タルトキ又ハ共同施行者力連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ年賦若ハ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

第八條ノ三中「第七條第一項第一號第二號」ヲ「第七條第一項第一號第二號、同條第四項」ニ改ム

第十一條ノ二中「區」ヲ「市」ニ改ム

〔政府委員武内作平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武内作平君) 本案ハ日本勸業銀行法、農工銀行法、及北海道拓殖銀行法ノ一部改正ヲ致シマシテ、土地區劃整理事業、重要輸出品工業組合ノ事業、漁業組合ノ事業、竝ニ北海道鐵道、軌道財團ニ對シマシテ金融ノ途ヲ開カムトスルモノデアリマス、土地區劃事業ハ都市計畫ノ助長促進上、最も必要ナル公共事業デアリマス、而シテ本事業ノ施行ニ付テハ耕地整理法ヲ準用セラレ、原則トシテ組合又ハ共同施行者、之ニ當ルコトニナツテ居リマスガ、此事業ニ對シマシテハ無抵當ニシテ長期ノ資金ヲ融通スル途ガ開カレテナイノデアリマス、又輸出貿易ノ改善助長ヲ圖ル爲ニ制定セラレテ居リマス、重要輸出品工業組合法ニ依ル重要輸出品工業組合ハ、現在ノ産業組合中ノ販賣、購買及利用組合ト略、同一ノ性質ヲ有スル經濟團體デアリマスガ、之ニ

對シマシテモ又現行法上、無抵當ニテ長期資金ヲ融通スル途ガ無いノデアリマス、故ニ前者ハ耕地整理事業、後者ハ産業組合ニ對スルト同様、日本勸業銀行、農工銀行及北海道拓殖銀行ヲシテ之ガ金融ニ當ラシムルノ必要ガアルノデアリマス、又漁業組合ハ共同施設事業トシテ、共同販賣、共同購買又ハ組合員ニ對スル漁業資金ノ供給等ノ事業ヲ行フ、重要輸出品工業組合ハ組合員ノ共同施設、製品ノ加工若クハ販賣又ハ組合員ノ營業ニ必要ナルモノノ供給等ノ事業ヲ行フガ故ニ、何レモ事業ノ遂行上短期資金ノ必要ガアリマスカラ、産業組合ニ對スルト同様、無擔保ニテ日本勸業銀行農工銀行ヲシテ其預リ金及ビ餘裕金ヲ以テ、其手形ノ割引、又ハ當座預金貸越ヲナサシムル必要ヲ認メタノデアリマス、次ニ北海道及樺太ニ於ケル拓殖開發上最も急務ナルハ、交通運輸機關ノ整備デアリマスルガ故ニ、同地方ニ於ケル地方鐵道及ビ軌道ニ對シ資金供給ノ圓滿ヲ圖ルガ爲ニ、北海道拓殖銀行ニ鐵道財團又ハ軌道財團ヲ抵當トシテ貸付ノ途ヲ開クノ必要ガアルノデアリマス、是ガ本案大體ノ改正ヲ必要トスル理由デアリマス、尙ホ其外ニ細カイ改正ガ有ルノデアリマス、ソレハ郡制ノ廢止、北海道ニ於ケル市制施行及輕便鐵道法廢止ニ伴ヒマシテ、日本勸業銀行法、農工銀行法及北海道拓殖銀行法中ノ條文ノ整理ヲ必要トスルノデアリマス、茲ニ日本勸業銀行法、農工銀行法及北海道拓殖銀行法中ノ改正案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、慎重御審議ノ上速ニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 通告順ニ依リマシテ阪谷男爵ニ發言ヲ許シマス

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ大藏大臣ニ質問ヲ致シタイノデゴザイマスガ、今日ハ衆議院ノ方ヘ御出席ニナツテ御差支ト云フコトデアリマス、併シ貴族院ノ方モ段々忙シクナリマシテ時機ヲ失フノ虞レガアリマスカラ、質問ノ趣意ヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス、ソレ故ニ本員ノ質問ニ對シテハ大藏大臣ノ御答辯ヲ煩シタイト云フコトヲ御斷リ致シテ置キマス、唯今特殊銀行ノ法律改正案ガ三ツ御提出ニナリマシタノデスガ、本員ノ見マス所、又先年來本院ニ於テ希望ノ出マシタ所カラ考ヘマスルト、是ダケノ特殊銀行法改正デハ満足イタシ兼ヘルノデアリマス、今日御提出ニナリマシタ案其モノニ付テ別ニ異議ノアル譯デハゴザイマセヌガ、朝鮮銀行、臺灣銀行、興業銀行其他ノ特殊銀行ノ近年ノ成績ト云フモノハ、本員等ノ甚ダ満足シ能ハザル所デアリ

マス、故ニ本員ハ第一ニ大藏大臣ニ伺ヒタイノハ、朝鮮銀行、臺灣銀行又興業銀行ニ對シマシテ、種々大藏大臣トシテモ御心配ニナッタコトガアリマスルヤウデゴザイマス、現ニ西原ノ借款ノ始末ニ付テハ法律案ガ衆議院ノ方ヘ出テ居ル、又預金部カラ融通セラレマシタ低利資金ニ付キマシテハ、低利ノ上ニ利子ヲ引下ゲ償還ノ期限ヲ延バスト云フヤウナ恩典モ與ヘラレタノデアリマス、是ハ國家ノソレダケノ損害ニナル譯デ、特殊銀行ノ監督ニ於テ重大ナル責任ノ一ツト考ヘルノデアリマス、又株主其他ノ少カラヌ迷惑ヲ感シタ譯デアリマス、特殊銀行トシテ大藏大臣ノ監督ニ在ル以上ハ斯ル間違ハナカラウト云フ信用ヲ持チマスノハ、是ハマア自然ノコトデアラウト思フ、然ルニ配當ハ減ゼラレルトカ、積立金ハ之ヲ取崩サレルト云フヤウナ始末デア、甚ダ株主ハ迷惑イタシテ居ル譯デアリマス、ソコデ第一ニ伺ヒタイノハ、是等ノ銀行ニ對シテノ始末ノ處分ハモウ出來タノデアルヤ否ヤ、即チ其善後策ト云フモノハ十分ニ出來タノデアリマスカ否ヤ、ト云フコトヲ御尋ネスルノデアリマス、大藏大臣ハ財政ノ整理、經濟ノ整理ヲ趣旨トシテ非常ニ御就任以來御努メニナツテ居ルト云フコトハ、本員ノ深く感謝スル所デアリマス、金融上經濟上重大ノ關係アル特殊銀行ガ、甚ダ金融上其效用ヲ完ウスルコトガ十分出來スト云フ位置ニ置カレルト云フコトハ、マダ病源ガ除カレタトハ申サレナイ、財政經濟ノ整理ノ上ニ付テハ、斯カル金融機關ノ健全ナル恢復ヲ圖ラナケレバナラヌノデア、ソレガ又モ整理ヲ要スルト云フヤウナコトデモアリマスルナラバ、甚ダ困ッタ譯デア、又銀行其モノガ、即チ朝鮮銀行トカ臺灣銀行トカ大イナル金融機關其モノガ、自分ノ整理ニ急ナルノ結果、其銀行ヨリ金融ヲ受ケテ居ル商工業ト云フモノハ、非常ニ迷惑ヲ感ズル譯デア、即チ此限度マデハ融通ガ受ケラレルト云フコトヲ期待シテ商工業ヲ營ム人ガ、何等カノ爲ニ急ニ銀行ガ緊縮ヲ始メタト云フコトニナルト、滿洲ナリ朝鮮ナリ臺灣ナリノ商工業者ト云フ者ハ、甚ダ迷惑ノ譯デア、ドウシテモ特殊銀行其モノガ健全デナクチャナナイ、之ヲ健全ナラシムルノ責任ハ即チ大藏大臣ノ監督如何ニアルト云フ譯デアリマス、其善後策ト云フモノガ最早十分ナリトセラレルノデア、カドウカト云フコトガ伺ヒタイノデア、第二ニハ、モウドウモ致シ方ガナイ、出來タコトデアルトシテモ、ドウシテモ其原因ヲ尋ネナケレバナラヌ、ドウシテ斯ウ云フ始末ヲ起シタカ、デ其不始末ヲ惹キ起シタ原因ニ付テハ、人ノ罪モアラウト云フコトハ論ヲ待

タヌ、當事者ニ其人ヲ得ナカッタ、當事者ノヤリ口ガ惡カッタト云フ、即チ是等特殊銀行ノ重役ナリ支配人ナリ、其他ノ當事者ガ方針ヲ誤リ、又取扱ヲ誤ッタト云フ、即チ人ノ罪、人ガ惡カッタト云フコトノ原因モアリマセウ、是等ハ所謂大藏大臣ガ監督上善後策ノ一ツトシテ相當ナル重役支配人以下ノ者ヲ取代ヘラレルコトデアラウト思ヒマスガ、制度其モノニ何カ缺陷ガアリヤセヌカト云フコトガ、私ノ伺ヒタイ第二ノ點デアリマス、人ノ罪バカリデハアルマ、是等ノ特殊銀行ガ出來テ大分時代モ經ッタ、時勢モ變化シタ、ドウモ今日從來ノ制度其モノデハ法律上不備ナ所ガアリヤシナイカ、例ヘバ其一例トシテ舉ゲレバ、近來問題トナツテ居リマスル銀行ノ總裁トカ頭取ト云フモノヲ官命ニスル、官ガ言付ケルト云フコトガ果シテ適當デアルヤ否ヤ、寧ロ是ハ株主ノ選舉ニシタ方ガ宜イコトハナイカト云フ問題デアリマシテ、即チ制度其モノノ上ニ缺陷ガアリヤシナイカ、成ル程是等銀行ノ創立ノ際ハ未ダ人材ガ十分ニ無カッタカモ知レナイ、故ニ先ヅ現行ノ如キ制度ニシタカモ知レマセヌガ、今日ニ於テハ却テソレガ爲ニ弊ヲ生ジテ人ヲ得スト云フヤウナコトガ有リハシナイカドウカ、即チ制度其モノニ缺陷ガアリヤシナイカ、今舉ゲマシタノハ唯一ツ一例デアリマスケレドモ、其外ノ、或ハ兌換券ノ發行ヲ許ス、臺灣銀行、朝鮮銀行ニ今日兌換券ノ發行ヲ許シテ居リマスガ、是等ノコトモ其當時朝鮮ノ併合日淺ク、臺灣ノ……領臺日淺ク、當時ニ於テハ或ハ必要ナ制度デアッタカモ知レヌガ、今日帝國ノ勢力ガ段々ト進ンデ、最早一小部分ノ發行權ヲ認ムルト云フノ時期ハ過ギ去ッタノデハナイカ、サウナツテ來ルト、此發行權モ寧ロ日本銀行ナラ日本銀行ト云フ中央銀行ヘ併セテシマッタ方ガ適當ナンデアアルマイカ、是ハマア其一二ノ例デアリマシテ、其外ニモ例ヲ舉ゲレバ幾多ゴザイマスル、即チ制度其モノノ缺陷ガアリヤシナイカ、デ制度其モノニ缺陷アリトスルナラバ、ソレ等ノ改正案ト云フモノヲ御提出ニナル考ガアルカドウカ、是ガ第二ノ問デアリマス、第三ノ問ハ、今日ノ我國ノ經濟財政ト云フモノハ非常ナル複雑ニナツテ居ル、是等特殊銀行ノ制度ヲ造リマシタ當時、本員等モ其筆ヲ執リマシタ一人デゴザイマスガ、其當時ハ至ッテマダ日本ノ國情ハ簡單ナモノデアリ、又日本ノ經濟財政ノ力ニ致シマシテモ、國庫ノ歲入出ガ八千万圓ニ上ラヌ時代デア、ルノデゴザイマスカラ、今日十五億トカ十六億トカ云フ呼聲ヲ舉ゲルヤウニナル時代トハ大分變ッテ參ッタ、又國際金融關係ト云フモノモ非常ニ變ッテ參ッテ居ル、始終又金融ナリ會社ナリ

色ミノモノガ出来タ、即チ信託會社ト云フヤウナモノガ出来タト云フヤウニ、種々錯綜シテ居リマスニ付テハ、其特殊銀行ノ制度ニ、根本改正ヲ加ヘラレルニ付テハ、獨リ政府ノミデ是ガ爲シ能フト云フコトハ、私ハ随分出来ヌコトデヤナイガ、或ハ遺憾ナ點ガアリハシナイカ、今日法律ノ制度ノ改正ニ付キマシテハ、法制審議會ト云フモノガアリ、教育ノ制度改正ニ付イテハ教育審議會、或ハ文政審議會ト云フモノガアルヤウニ、此ノ特殊銀行ノ根本的改正、即チ此重役ノ選舉トカ、或ハ兌換券ノ發行ノ制度トカ云フヤウナ、是等幾多ノ重要ナ改正ヲ實行サレルニ付テハ、一ノ、朝野ノ識者ヲ集メテ調査機關ヲ設ケテ、十分ニ調べテ、萬遺憾ナカラシムルト云フヤウナ方法ヲ取ラレテハ如何デアラウカ、豫テ特殊銀行ノ改正ニ付イテハ、十分ニアル積リデアルト云フコトハ、前議會デモ大藏大臣ノ口カラ本員ハ聞イタノデアリマス、今年ハドウ云フモノガ出来ルカと思ッタラ、三ツバカリノ、斯ウ云フヤウナ甚ダ簡單ナモノガ出来タ、決シテ是ハ本員等ノ望ンダモノトハ、マルデ物ガ違フ、是ハ一時限リノ必要ヲ充タスモノデアリマス、制度トシテモ、又現行制度ニ則ッタモノデアアル、本員等ノ希望スル大ナル改正、即チ根本改正、之ニ付テハ、ドウモ今年ハ税制整理、或ハ關稅定率等ト、色々ナコトガアッテ、十分ニ考ヘル暇ガナイト云フヤウナ御話ヲ聞イタコトモチヨツトゴザイマス、十分遺憾ノナイヤウナ、完全ナ改正案ヲ、一ノ調査機關ヲ設ケテ、調べサシテ、而シテ之ヲ次ノ議會ニハ必ズ御提出ニナル、斯ウ云フヤウナ御考ハ無イモノデアルカドウカ、此ノ三ツノ點ヲ伺テ置キマス、是ハ大藏大臣ヨリ前申ス如クニ御答辯願ヒタウゴザイマスカラ、今日此席デ御答辯ヲ敢テ願ヒマセヌノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御質疑モナイト認メマスカラ、三案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔小林書記官朗讀〕

日本勸業銀行法中改正法律案外二件特別委員

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 子爵 大河内 輝 耕君 | 子爵 裏 松 友 光君 | 淺 田 徳 則君 |
| 男爵 近 藤 滋 彌君 | 室 田 義 文君 | 中 川 小 十郎君 |
| 馬 越 恭 平君 | 金 子 元 三郎君 | 長 尾 元 太郎君 |

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四、獸醫師法案、政府提出、第一讀會、早速國務大臣

獸醫師法案

右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
大正十五年二月十七日

内閣總理大臣 若槻禮次郎
農 林 大 臣 早 速 整 爾

獸醫師法

第一條 獸醫師タラムトスル者ハ農林大臣ノ免許ヲ受ケ獸醫師名簿ニ登録ヲ受クヘシ

獸醫師ノ免許ヲ受クルニハ左ノ各號ノ一ニ該當スル資格ヲ有スルコトヲ要ス

一 大學令ニ依ル大學ニ於テ獸醫學ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者、東京帝國大學農學部獸醫學實科ヲ卒業シタル者又ハ官立公立ノ專門學校若ハ文部大臣力之ト同等以上ト認メ指定シタル學校ニ於テ獸醫學ヲ修メ之ヲ卒業シタル者

二 獸醫師試驗ニ合格シタル者

三 外國ノ獸醫學校ヲ卒業シ又ハ外國ニ於テ獸醫師ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ命令ノ規定ニ該當スル者

第一項ノ登録及前項第二號ノ獸醫師試驗ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 農林大臣ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ獸醫師ノ免許ヲ爲スコトヲ得ス

一 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二 未成年者、禁治產者又ハ准禁治產者

三 精神病者、聾者、啞者又ハ盲者

第三條 農林大臣ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ獸醫師ノ免許ヲ爲ササルコトヲ得

一 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者

二 獸醫事ニ關シ罰金ノ刑ニ處セラレ又ハ不正ノ行爲アリタル者

第四條 獸醫師ハ自ラ診察セスシテ診斷書、處方箋ヲ交付シ若ハ治療ヲ爲シ又ハ檢案セスシテ檢案書若ハ死産證書ヲ交付スルコトヲ得ス但シ診療中斃死シタル場合ニ交付スル斃死診斷書ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五條 開業ノ獸醫師ハ診察又ハ治療ノ需アル場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

獸醫師ハ法令ノ規定ニ依リ必要アル者ニ正當ノ事由ナクシテ診斷書、檢案書又ハ死産證書ノ交付ヲ拒ムコトヲ得ス

第六條 獸醫師ハ診療簿ヲ備ヘ三年間之ヲ保存スヘシ

第七條 獸醫師ハ何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス業務上學位、稱號及専門科名ヲ除クノ外其ノ技能、療法又ハ經歷ニ關スル廣告ヲ爲スコトヲ得ス

第八條 獸醫師ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ道府縣獸醫師會ヲ設立スヘシ

道府縣獸醫師會ハ日本獸醫師會ヲ設立スルコトヲ得

道府縣獸醫師會ハ日本獸醫師會ノ會員トス

道府縣獸醫師會及日本獸醫師會ハ法人トス勅令ノ定ムル所ニ依リ獸醫事衛生ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

道府縣獸醫師會ハ道府縣ヲ、日本獸醫師會ハ内地ヲ區域トス

第九條 道府縣獸醫師會及日本獸醫師會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ會員ヨリ徵收スヘキ收入ニ關シ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十條 本法ニ規定スルモノノ外道府縣獸醫師會及日本獸醫師會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 獸醫師第二條各號ノ一ニ該當スルトキハ農林大臣ハ其ノ免許ヲ取消スヘシ

獸醫師第三條各號ノ一ニ該當スルトキハ農林大臣ハ其ノ免許ヲ取消シ又ハ期間ヲ定メテ其ノ業務ヲ停止スルコトヲ得

前二項ノ取消處分ヲ受ケタル者ト雖第二條第二號又ハ第三號ノ原因止ミタルトキ又ハ改悛ノ情顯著ナルトキハ再免許ヲ爲スコトヲ得

農林大臣第二項ノ處分ヲ行フ場合及改悛ノ情顯著ナル者ニ對シ前項ノ再免許ヲ爲ス場合ニ於テハ中央衛生會ノ審議ヲ經ルコトヲ要ス

第十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 獸醫師ノ免許ヲ受ケスシテ其ノ業務ヲ爲シタル者

二 業務停止中ノ獸醫師ニシテ其ノ業務ヲ爲シタル者

三 第四條又ハ第七條ノ規定ニ違反シタル者

第十三條 第五條又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

獸醫免許規則ハ之ヲ廢止ス

本法施行前獸醫免狀ヲ受ケタル者ハ本法ニ依リ獸醫師ノ免許ヲ受ケ獸醫師名簿ニ登錄ヲ受ケタル者ト看做ス

前項ノ規定ニ該當スル者ニ付テハ未成年者タルノ故ヲ以テ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得ス

本法施行前交付シタル獸醫假免狀ハ本法施行後ト雖仍其ノ效力ヲ有ス前項ノ假免狀ノ有効期間ハ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得

本法ノ規定ハ獸醫假免狀ヲ受ケタル者ニ付之ヲ準用ス

本法施行ノ際從前ノ規定ニ依リ獸醫免狀ヲ受クル資格ヲ有スル者及本法施行後八年内ニ從前ノ規定ニ依リ獸醫免狀ヲ受クル資格ヲ得タル者ハ第一條第二項ノ規定ニ拘ラス獸醫師ノ免許ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ未成年者タルコトヲ妨ケス

本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ、同法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

〔國務大臣早速整爾君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(早速整爾君) 獸醫師法案提出ニ付キマシテ大體ノ説明ヲ申上ゲマス、獸醫師ニ關スル現行法タル獸醫免許規則ハ明治二十三年ノ制定ニ係リマシテ、今日ニ至ッテ見マシレバ改正ヲ要スベキ事項モ少ナシトシナイノデアリマス、就中、現行法ニ於キマシテノ獸醫師ノ免許資格ハ農業學校規程ニ依リ獸醫學校卒業ヲ以テ程度ト致シテ居リマスガ、我が畜産業ノ現況竝ニ獸醫學ノ進歩ニ鑑ミマシテ専門學校卒業程度ニ高ムルノ必要アリト認メテ居リマス、又獸醫師ノ向上ノ獸醫事衛生ノ發達ヲ圖ラムガ爲ニハ、獸醫師ノ團體的活動ニ俟ツ所、大ナルモノガアリマスカラ、獸醫師會ヲ設ケシムルノ必要アリト認メテ居リマス、依ッテ是等ノ事項ニ關スル規定ヲ設ケマシテ獸醫事衛生ノ改良發達ヲ圖リ、以テ我が畜産業ノ振興ニ資セムガ爲ニ本案ヲ提出イタシ

マシタ次第デアリマス、何卒、審議ノ上、協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告ニ依リマシテ西尾子爵ノ發言ヲ許シマス

〔子爵西尾忠方君演壇ニ登ル〕

○子爵(西尾忠方君) 唯今農林大臣ヨリ獸醫師法ニ付キマシテ御説明ガゴザイマシタカラ、之ニ付キマシテ大體ノ點ニ於テ一二伺フテ見タイト思フノデアリマス、本案ヲ大體拜見イタシマス、獸醫事ト云フコトガ書イテゴザイマスガ、此獸醫事ト云フコトハ如何ナルコトヲ意味シテ居ルノデアリマセウカ、此點ニ付テ承ッテ見タイノデアリマス、能ク此法案ヲ拜見イタシテ居リマセヌガ、家畜ノ診斷治療ト云フコトヲ獸醫事トシテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、今日ノ社會ノ通念ニ於キマシテ、獸醫ト云フモノハ此診斷治療ノミデナク、畜産ノ方面ニ大ニ從事シテ居ル者ガアルノデアリマスガ、果シテ是等ノモノハ此中ニ含ンデ居ラナイノデアリマスカ、此點ニ付キマシテ御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス、次ニ第五條ニ「開業ノ獸醫師ハ診察又ハ治療ノ需アル場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス」ト云フ規定ガアリマスガ、斯ノ如キ義務ヲ獸醫ガ負フト云フコトハ如何ナル理由デアリマスカ、此理由ニ付キマシテ、簡單デ宜シウゴザイマスカラシテ御説明ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス、第八條ノ中ニ獸醫ノ團體デアル所ノ日本獸醫師會ノ目的ガ書イテゴザイマス、即チ「獸醫事衛生ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス」假ニ此獸醫事ト云フコトガ家畜ノ診斷又ハ治療ト云フコトニ限ラレテ居ルト致シマシタナラバ、今日ノ大都會ニ於テノ獸醫ハ、家畜ノ診斷又ハ治療ニ主トシテ從事シテ居ルノデアリマスケレドモ、地方ニ於テハ獸醫ハ即チ畜産ノ指導者デアリマシテ、之ニ依ッテ家畜ノ増殖改良ト云フコトガ圓滿ニ行ハレテ居ルノデアリマス、若シ此法案ガ通過シマシタ場合ニ於キマシテ、是等ノ地方ノ獸醫ガ團體トシテ家畜ノ増殖ニ對シテ意見ヲ述ベル、或ハ又其諮問ニ應ジ或ハ更ニ進ンデ是等ノ産業ニ活動スルコトガ出來ナイト云フコトニナリマシタナラバ、日本ノ國家ノ産業ノ發達ノ上ニ大イナル支障ヲ來シハシナイカト云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、此三點ニ付キマシテ簡單ニ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

〔國務大臣早速整爾君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(早速整爾君) 唯今ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、第一ノ御尋ノ此獸醫師ト云フモノニ付テノ解釋デアリマス、是ハ矢張り御述ベニナリマシタ通ニ、本案ニ於キマシテハ家畜ノ疾病ヲ診察治療スルト云フ者ヲ以テ獸醫師ト致ス、斯ウ云フコトニ定メテ居リマスノデアリマス、ソレカラ其次ニ御尋ホニナリマシタ第五條ノ規定デアリマス「診察又ハ治療ノ需アル場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス」此箇條ヲ設ケマシタ趣旨ハ、動モスレバ開業ノ獸醫師デ、矢張り家畜ノ疾病誠ニ急ヲ要スル場合ニ、ドウモ獸醫師ガ診察治療ヲ需メラレテモ之ヲ拒ムト云フヤウナ惡弊ガナキニシモアラズデアリマスカラ、正當ノ事由アル場合ハ已ムヲ得マセスケレドモ、ドウモ正當ノ事由ナキ場合ハ之ヲ拒ムコトガ出來ナイト云フコトニ致シマセナケレバ、矢張り地方アタリデ家畜ガ危急ノ病ニ罹ッダ場合ニ、相當ノ治療ヲ施スノ機會ヲ失フコトガ往々ニシテアルノデアリマスノデ、特ニ此箇條ヲ設クル必要ガアリト信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ其次ノ御尋デアリマス、此獸醫師會ニ付テ……獸醫師會ノ目的ニ付テノ御尋デアアルノデアリマス、是ハ獸醫事衛生ノ改良發達ヲ圖ルヲ目的トシテ之ヲ組織セシメルト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマスガ、此獸醫師會ノ爲スベキ職務或ハ此目的權限ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、此改良發達ヲ圖ルト云フコトヲ目的ト致シマシテ、其細目ハ勅令ヲ以テ相當ニ規定ヲ致ス積リデアリマスカラ、唯今御述ベニナリマシタヤウナ色々ノ事ガアルノデアリマセウケレドモ、ソレハ相當ニ此獸醫師會ノ働キニ任スコトガ出來得ル途ハ立テ得ラレルト信ジテ居ルノデアリマス、大體はダケ御答ヲ致シテ置キマス

○子爵西尾忠方君 唯今ノ第五條ニ付キマシテ更ニ承ッテ見タイト思ヒマスルガ、參照ノ爲ニ醫師法ヲ見マス、大體、治療ヲスル醫者ニ對シテ同ジヤウナ規定ガアリマス、併ナガラ人間ノ生命ト云フモノハ絶對ノ價值ノアルモノデアリマスカラシテ、斯ノ如キ義務ヲ負ハセル、即チ第五條ノ精神ヲ定メルコトガ必要デアリマスガ、家畜即チ家畜ハ一ノ動産デアリマスカラシテ、此動産ニ對シテ、斯ノ如キ義務ヲ獸醫ニ負ハセルト云フコトハ、唯今大臣ノ御話ニナッタコト以外ニ、往々地方ニ於キマシテハ、善良ナラザル所ノ家畜ノ取扱者ナゾガ、相當ノ報酬ヲ支拂ハナイ爲ニ、多クノ損害ヲ受ケテ居ルト云フコトヲ聞キ及ブノデアリマス、斯ノ如キ事情ガ出來マシタナラバ、是等ヲ當然行ハシメルヤウナコトガ起ッテ、是ガ爲ニ大イニ迷惑ヲ生ズルト云フヤウ

ナコトガ有ルノデハナカラウカト云フコトヲ憂ヒマシテ、御尋ネシタノデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ、如何御考ヘニナリマスカ、此事ヲチヨット、モ一應御答辯ヲ得タイト思ヒマス

〔國務大臣早速整爾君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(早速整爾君) 御答ヲ致シマス、家畜ハ例ヘバ病氣ニナリマシテモ、コノ人ノ病氣アタリトハ多少其趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマスルガ、併シ今日ハ非常ニコノ家畜ト云フモノガ經濟的價值ヲ高メテ居リ、色々ノ改良ニ伴ヒマシテ、家畜其モノガ頗ル重ンズベキ地位ニ立ッテ居ルノデアリマス、此重ンズベキ家畜ノ病ニ罹リマシタ際、故ナクシテ此診療ヲ拒ムト云フコトニ相成リマスルト云フト、此治療ノ機會ヲ失スルト云フコトハ、非常ナル經濟上ノ損失ヲ與ヘルト云フコトニ相成ッテ來ルト考ヘルノデアリマス、ソレデアリマスルカラシテ此第五條ノ規定ヲ設ケマシタル趣意ハ、正當ノ事由ナクシテ其診療ヲ拒ムト云フモノニ對シテハ、之ヲ防グ途ヲ立テナケレバ、今日ノ此大切ナル家畜ノ保護ト云フコトニ對シテ途ヲ立テルコトガ出來ナイデアラウ、斯ウ云フ考ノ下ニ矢張り此規定ヲ設ケルコトハ必要デアルト信ジタニ外ナラナイノデアリマス、御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵西尾忠方君 モウ一回伺ヒタイト思ヒマスガ、此前ニ診療料ヲ拂ハナカッタト云フコトガ、正當ノ事由ニ這入りマスカドウデアリマスカ、此點ヲ一應伺ヒマス

〔國務大臣早速整爾君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(早速整爾君) 重ネテノ御尋デアリマスガ、此診療料ヲ拂ハナカッタト云フ唯一ノ事實ニ付キマシテ考ヘマスルト云フト、事態ニ因ッテ其場合ヲ異ニスルカト思ハレルノデアリマス、是ハ當リ前ノ人ノ、醫師法ノ中ニ付テモ解釋ハ左様デアルヤウデアリマス、殊ニ此獸醫ニ付キマシテモ同ジコトデアリマシテ、唯僅ニ或ル事情ノ爲ニ診療料ヲ拂ハナカッタ、誠ニ已ムヲ得ザル事故ノ爲ニ單純ニ拂ハナカッタト云フ位ノコトハ、是ハ矢張り其次ノ診療ヲ拒ム事由トハナラス、唯ソレハ程度問題デアリマスカラシテ、故意ニ非常ニ診療料ガ滯ッテ、何トシテモ之ヲ支拂フコトヲ肯ジナイ、斯ウ云フヤウナ場合ニ、其程度ノ重キモノニナリマスレバ、之ヲ拒ムト云フコトニモ解釋ガ出來ルノデアリマス、是ハ其事態ニ依ッテ相當ニ判斷セラレルノデアラウト思フノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御質疑ハ無イト認メマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

獸醫師法案特別委員

子爵實吉 安純君 子爵米津 政賢君 子爵曾我 祐邦君
男爵北里 柴三郎君 木場 貞長君 荒川 義太郎君
男爵小原 睦吉君 三木 與吉郎君 瀨川 彌右衛門君
○議長(公爵德川家達君) 次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日は是ニテ散會イタシマス

午前十時五十五分散會